

教科名	国語	週時間数	3 時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書 「現代の国語3」三省堂/「新しい書写」東京書籍 副教材 「国語スイッチ3」正進社/「国語活用資料集」新学社 「新しい文法ワーク」明治図書				

国語科 の目標	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合うことができる。	
評価について		
観点	つけない力	方法
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	・ノート、授業プリントの記述 ・授業中の発言、様子 ・国語カードの記述 (授業・単元のふりかえり) ・定期テストや漢字テスト等
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ノート、授業プリントの記述 ・授業中の発言、様子 ・国語カードの記述 (授業・単元のふりかえり) ・定期テストや漢字テスト等
主体的に 学習する 取り組み 態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使用している。	・ノート、授業プリントの記述 ・授業中の発言、様子 ・国語カードの記述 (授業・単元のふりかえり) ・提出物
学習方法	・言葉での表現の仕方、語彙による意味の微妙な違いなどに着目し、教科書やプリントなどの内容を理解し、使えるようになろう。 ・積極的に自分から考え、仲間の意見をよく聴き、考えを深めることを心がけよう。 ・便覧や機器による資料を収集し、伝え学び合おう。 ・仲間に尋ねるなど丁寧にに関わり、互いに学びあう関係を大切にしよう。 ・配布されたプリント等を整理し、その都度ノートに貼り、復習につとめよう。 ・漢字は漢字テストの機会に何度も書いて練習し、文法の重要事項を覚え、資料で調べ、知識を定着させよう。 ・宿題は出された日にやっておく習慣をつけよう。 ・教科書を何度も読み、ワークを使いながら、基本となる重点ポイントを理解しよう。 ・読書や日記などに普段から取り組み、読み書きに親しもう。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	詩 小説 言葉発見① 話す・聞く	岩が 握手 辞書の語釈 グループディスカッション	・描かれた情景を想像しながら読み、内容を理解する。 ・小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価する。 ・辞書の語釈について理解し、語彙を豊かにする。 ・話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。
	5	評論	「批判的に読む」とは 間の文化	・批判的に読む方法について理解する。 ・「間」や「和」を観点にして、日本文化について自分の考えを深める。
	6	書く 漢字のしくみ 解説	課題作文 四字熟語 俳句の世界	・条件に応じて表現を考えたり、資料を適切に引用したりして、自分の考えが伝わるように工夫する。 ・四字熟語について理解を深める。 ・俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。
	7	俳句 書く	俳句十句 批評文	・語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を詠み味わう。 ・読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。
		言葉発見②	和語・漢語・外来語	・和語・漢語・外来語について理解を深める。
2	9	随想	希望	・話題とそれに対する筆者の見方に着目して内容を具体的に読み取り、筆者の思いを捉える。
		論説	フロン規制の物語<杞憂>と<転ばぬ先の杖>のはざままで	・文章を批判的に読み、科学と社会との関係について自分の考えを広げる。
		言葉発見③ 話す・聞く	慣用句・ことわざ・故事成語 パブリックスピーキング	・慣用句・ことわざ・故事成語について理解を深める。 ・社会の中から題材を探し、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。
	10	古文	和歌の世界－万葉集・古今和歌集	・和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。
		古文	・新古今和歌集 おくのほそ道	・歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。
		言葉発見④	言葉の現在・過去・未来	・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。
		漢文	論語	・漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。
		表現プラザ	漢字一字で表現すると	・日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。
	11	論説	情報社会を生きる	・情報の信頼性の確かめ方を理解して情報を活用し、自分の考えを広げたり深めたりする。
		実用文	広告の読み比べ	・信頼性の高い資料を適切に引用して、自分の考えがわかりやすく伝わる文章を書く。
		書く	ポスター	・書く目的や意図に応じて文章の種類を選択し、読み手を説得できるように構成を工夫する。
	12	文法の窓	表現につながる文法	・言葉の選び方による伝わり方や与える印象などの違いについて理解を深める。
		詩 言葉発見⑤	初恋 相手や場に配慮した言葉遣い	・詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。 ・敬語のさまざまなはたらきを知り、相手や立場に応じた使い分けについて理解を深める。
		小説	故郷	・登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。
		書写	書き初め	・書初めの練習
3	1	読書活動	ブックトーク	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。
		論説文	「文殊の知恵」の時代	・筆者の主張を捉え、自分の知識や経験などと照らし合わせながら内容を理解する。
	2	小説	坊っちゃん	・言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意して読み、作品の特徴を評価する。
	3	話す・聞く・書く	名言集 中学校生活を振り返って	・話し合いの仕方を工夫して集めた材料を整理し、考えを広げたり深めたりする。

教科名	数学	週時間数	4時間	学年	3年
使用教科書 副教材等	教科書 未来へひろがる数学3（啓林館） 副教材 数学の学習ノート 3年（正進社） 新・計算の基礎練習帳（創育・吉野教育図書）				

数学科の 目標	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	
評価について		
観点	つきたい力	方法
知識・技能	・数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・ノート、計算練習のノート、授業プリントの記述 ・授業中の発言、問題演習の様子 ・授業や単元のふりかえり ・定期テスト、小テスト
思考・判断・表現	・数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や軽量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	・ノート、計算練習のノート、授業プリントの記述 ・授業中の発言、問題演習の様子 ・授業や単元のふりかえり ・定期テスト、小テスト
主体的に 学習に 取り組む 態度	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。	・ノート、計算練習のノート、授業プリントの記述 ・授業中の発言、問題演習の様子 ・授業や単元のふりかえり ・定期テスト、小テスト ・宿題、ワークなどの提出物
学習 方法	・最も大切なことは、授業に集中し、先生の話をしっかり聞くこと。授業中、分からなかった問題は質問し、できるだけ早く理解し、解決しておく。 ・授業中の問題演習に挑戦し、答え合わせの時には積極的に挙手して発表できるとよい。発表の時には、根拠やそうなる理由をしっかりと述べるのが大切である。解き方だけを求めるのではなく、なぜそうなるのかを考えることで数学が楽しくなり、理解が深まる。 ・その日に学習した内容や問題を家庭で復習する。まずはノートにまとめた用語や公式を押さえる。そして、学校で使用しているワークを使い、学校で学習したところの問題を解く。解き方が分からない場合は、教科書や授業のノート、ワークの解答・解説で確認する。それでも分からない場合は、友達や教師に質問し、理解できるまで学習を進める。これらの学習を繰り返し行う。 ・学校で使用しているワークの問題が理解できるようになったら、新たな問題集にもチャレンジする。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	オリエンテーション		
	5	1章 式の展開と因数分解	1. 式の展開と因数分解 2. 式の計算の利用	・多項式と単項式の乗法や多項式の積の展開の仕方について理解し、その計算に習熟する。 ・因数分解の意味を理解し、共通因数をくり出したり乗法の公式を利用したりして、多項式を因数分解することができる。
	6	2章 平方根	1. 平方根 2. 根号をふくむ式の計算 3. 平方根の利用	・数の平方根の意味や根号を使った表し方、平方根の大小など、平方根について理解することができる。 ・根号をふくむ式の乗法、除法や式の変形、根号をふくむ式の和と差や、根号をふくむ式の積の計算ができる。
	7	3章 二次方程式	1. 二次方程式 2. 二次方程式の利用	・二次方程式とその解の意味を理解し、平方根や解の公式、因数分解を用いて二次方程式を解くことができる。 ・二次方程式を利用して問題を解決したり、解を吟味したりすることができる。
2	9	4章 関数 $y=ax^2$	1. 関数とグラフ 2. 関数 $y=ax^2$ の値の変化 3. いろいろな事象と関数	・事象の中には $y=ax^2$ で表される関数関係があることを知り、その特徴を理解する。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフとその特徴を理解し、グラフを書くことができる。 ・身のまわりの事象の中から関数 $y=ax^2$ の関係を見つけ、それを利用して、問題を解決することができる。
	10	5章 図形と相似	1. 図形と相似	・図形の拡大・縮小の意味を知り、それをもとに図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。 ・三角形の相似条件を知り、簡単な場合にそれを用いることができる。
	11		2. 平行線と線分の比 3. 相似な図形の計量 4. 相似の利用	・三角形の相似条件を使って図形の性質を証明することができる。 ・平行線と線分の比に関する性質を見だし、それを活用することができる。 ・相似な図形について、相似比と面積比、体積比の関係を理解する。 ・縮図をかいいて、2地点間の距離や建物の高さを求めることができる。
	12	6章 円の性質	1. 円周角と中心角 2. 円の性質の利用	・円周角の意味を理解し、円周角と中心角の関係を知り、具体的な場面で活用することができる。 ・円の性質を根拠にした証明や作図ができる。
3	1	7章 三平方の定理	1. 直角三角形の3辺の関係 2. 三平方の定理の利用	・観察・操作を通し、三平方の定理を見だし、それが証明できることを理解する。また、三平方の定理の逆について知る。 ・三平方の定理を利用して、正三角形の高さ、弦の長さ、2点間の距離、直方体の対角線の長さ、正四角錐の高さや体積などを求めることができる。
	2	8章 標本調査とデータの活用	1. 標本調査	・調査の中には、全てを調べることが適切でない調査があることを見つけ、全数調査と標本調査の意味がわかる。 ・母集団から標本を取り出し、標本の傾向を調べることで、母集団の傾向が読み取れることを理解する。また、標本調査の方法や標本抽出の方法を理解する。
	3	復習	3年間の復習	・3年間の学習を振り返り、中学校3年間の数学の基礎・基本をかため、入試対策を行う。

教科名	社会	週時間数	4 時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書 新しい社会歴史（東京書籍） 新しい社会公民（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院）				

社会科 の目標	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解する。 ・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する。 ・課題の解決に向けて選択・判断し、説明したりすることを基に議論などをする力を養う。 ・よりよい社会の実現させるために、課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ・国民主権を担う公民として、自国の平和と繁栄を図り、他国や他国の文化を尊重する。	
評価について		
観点	つけたい力	方法
知識・技能	【歴史的分野】 世界の歴史を背景にした日本の歴史の大きな流れや、各時代の特色についての理解。資料から歴史に関する様々な情報を読み取る力。考えたりまとめたりするための知識及びそれらをまとめて伝える技能。 【公民的分野】 個人と社会との関わりを中心にした、民主政治、経済活動、現代の社会生活、国際関係などについての理解。資料から現代の社会的に関する様々な情報を読み取る力。考えたりまとめたりするための知識及びそれらをまとめて伝える技能。	・単元テスト ・定期テスト ・確認テスト
思考・判断・表現	【歴史的分野】 歴史に関する事象について、人々の生活、現在とのつながり、伝統・文化の特色などに着目して、多面的・多角的に考察したり、思考・判断したりする力。 【公民的分野】 現代社会に見られる課題について、社会的事象の意味、意義、特色、関連性などに着目し、社会生活と関連付けて、多面的・多角的に考察したり、思考・判断したりする力。	・授業の振り返り ・単元の振り返り ・単元テスト ・定期テスト ・確認テスト
主体的に 学習に 取り組む 態度	【歴史的分野】 国家や社会の担い手の一人であることを認識し、よりよい社会の実現のために歴史的事象から課題を見出し、主体的に解決しようとする態度。 【公民的分野】 国家や社会の担い手の一人であることを認識し、現代社会に見られる課題を見出し、主体的に社会に関することで解決しようとする態度。	・授業の振り返り ・単元の振り返り ・単元テスト・定期テスト ・確認テスト ・ワーク、ノートなどの提出物 ・授業に取り組む様子
学習 方法	・授業では教師の話をしっかり聞き、分からないことなどは質問するなど、積極的に取り組む。 ・少なくとも、黒板に書かれたことは、ノートに写すようにする。 ・学習内容の理解が進むように、ノートの取り方を工夫する。 ・振り返りは、めあてを意識して、理解できたことなどを読む人に伝えるように書く。 ・学習した内容は、ワークなどを利用して定着するまで復習する。 ・単元テストやワークなどで、できなかったところはできるようにする。分からないところは、教師に聞くなどして、分かるようにする。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	【歴史的分野】 日清・日露戦争と近代産業	日清・日露戦争と日本への影響について	日清・日露戦争を通して、日本が帝国主義諸国に近づき、日本の近代化がさらに進んだことを理解することができる。
	5	第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦と世界への影響について	第一次世界大戦が世界に与えた影響について理解することができる。
		大正デモクラシーの時代	大正時代の民衆による社会運動	大正時代に、民衆が様々な権利を主張したことを知り、民衆の思いを考えることができる。
	6	世界恐慌と日本の中国侵略	昭和初期の日本の様子と、戦争に至る経緯	日本が戦争に向かっていく様子を政治や経済の面から理解することができる。
		第二次世界大戦と日本	第二次世界大戦や太平洋戦争と、日本人の生活	第二次世界大戦や太平洋線の経緯を知り、今まで触れてきた平和学習などを生かしつつ、自分の考えを持つことができる。
	7	戦後の日本	戦後の政治・経済の改革と高度経済成長	戦後の占領による政策やその後の高度経済成長について知り、現代の日本が形成されてきたことを理解することができる。
		【公民的分野】 現代社会の特色と私たち	持続可能な社会、グローバル化、少子高齢化、情報化	現代の主な課題の現状について知り、それらを解決していくための方策について考えることができる。
2	9	私たちの生活と文化	生活と文化の関り、多文化共生	我々の生活は文化と密接にかかわっていることや国外の文化とも関連があることを理解できる。
		現代社会の見方や考え方	社会集団の中での決まりの作り方や見直し	決まりを作る意義や目的を理解し、効率・公正の観点から決まりを評価することができる。
	10	人権と日本国憲法	国民主権、平和主義、基本的人権の尊重	日本国憲法の基本原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）について理解することができる。
		人権と共生社会	平等権、自由権、社会権、人権を保障する権利	様々な人権が日本国憲法によって保障されていることを理解することができる。
		これからの人権保障	新しい人権、グローバル社会の中での人権	人権の考えは、時代によって新たに生み出されていることや世界全体で考えられていることを理解できる。
		現代の民主政治	民主政治の仕組みや選挙について	民主政治の仕組みについて知り、将来大切な一票を持つことになることを意識することができる。
		国の政治の仕組み	国会、内閣、裁判所の仕組みや役割	国会、内閣、裁判所の仕組みについて知り、それら相互の関りについて理解することができる。
		地方自治と私たち	地方自治の仕組みや住民としての役割	地方自治の仕組みについて理解するとともに、地方自治の一員としての自覚を持つことができる。
	11	消費生活と市場経済	消費生活、流通、消費者の権利について	消費者が自立していくことが大切であることを理解することができる。
3		生産と労働	企業の仕組みや労働者の権利について	企業の仕組みを知るとともに、労働者の権利について社会権と関連付けて理解することができる。
	12	市場経済の仕組みと金融	価格の決め方や金融のしくみについて	経済が、人々の考えや行動によって変化していくことを理解することができる。
	1	財政と国民の福祉	税の仕組みと社会保障制度について	税の制度や役割について、国や地方公共団体の政治と関連付けて理解することができる。
	1	これからの経済と社会	公害防止や環境の保全について	経済発展の弊害について理解し、それを解決しようと考えることができる。
	2	国際社会の仕組み	国どうしが抱える問題と国際連合の仕組み	グローバル化が進展する中で、国際連合が果たす役割について理解することができる。
3		さまざまな国際問題	環境、エネルギー、貧困、戦争、難民	国境を越える課題について理解し、それらを解決しようと考えることができる。
	3	これからの社会と日本	より良い地球社会をめざして	今後の社会がより良くなるにはどうすればよいか考えることができる。

教科名	英語	週時間数	4 時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書 NEW HORIZON (東京書籍) 副教材 Together English (学宝社)				

英語科 の目標	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用することができる。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。	
評価について		
観点	つきたい力	方法
知識・技能	・外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションで活用できる知識や技能を身に着けている。 ・学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	・授業中の活動の様子 ・授業でのペアワークやグループワーク等の様子 ・単語、文法等授業中の課題 ・定期テスト、小テスト、単元テスト ・リスニング、長文読解等課題 ・パフォーマンステスト
思考・判断・表現	・具体的で身近な話題について、互いの考えや気持ちなどを適切に伝え合うことができる。 ・聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えを話したり書いたりして表現できる。	・授業中の活動の様子 ・授業でのペアワークやグループワーク等の様子 ・定期テスト ・パフォーマンステスト
学習に主体的に取り組む態度	・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ・言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・授業中の態度や活動の様子 ・ペアワークやグループワーク等の様子 ・パフォーマンステスト ・ワーク、プリント、タブレット、振り返りシート等提出物
学習方法	≪学校では≫ ・英語は伝えようとするのが大切です。間違いを恐れず積極的に授業に取り組もう。 ・授業で習ったことを振り返りシートなどにわかりやすくまとめよう。 ≪家庭では≫ ・教科書に出てくる新しい英単語などを予習しよう。 ・学校で学習したことをワークを使って復習しよう。 ・英語は繰り返し学習が大切です。単語や文法などは、書くこと・読むこと・聞くことを大切に繰り返し練習しよう。教科書のリスニング・音読は本文を暗記するつもりで定期的に行おう。 ≪定期テストでは≫ ・試験範囲中の単語や本文は、何度も繰り返し書いて覚えよう。ワークは何度も解きなおそう。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	Unit 0	・受け身	これまでにまなんだことを使って、世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合って書いたりすることができる。
	5	Unit 1 ・Let's Write 1 ・Let's Listen 1	・現在完了形（経験） ・SVOC / SVOO	・障がい者スポーツについての理解を深め、人々を結びつけるスポーツについて考え、これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。
	6	Unit 2 ・Let's Talk 1 ・Let's Listen 2	・現在完了（完了・継続） ・現在完了進行形 ・はじめての出会い	・海外でも愛される日本の伝統文化の魅力を知り、言語や文化の違いについて考え、ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。 ・初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。
	7	Unit 3 ・Let's Write 2 ・Stage Activity 1 ・Let's Read 1	・It is...to ・want 人など to ・let (help) 人など 動詞の原形	・世界の絶滅のおそれのある動物について知り、自分たちにできることができる。また、自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。
2	9	・Let's Listen 3		
	10	Unit 4 ・Let's Talk 2 ・Let's Listen 4	・間接疑問文 ・SVOO ・現在分詞 ・過去分詞 ・町中での手助け	・防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識をもつことができる。 ・標識が何を意味しているかを説明することができる。 ・相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 ・ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考えることができる。 ・人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。
		Unit 5 ・Let's Write 3	・名詞を修飾する文（名詞＋主語＋動詞） ・関係代名詞（主格） ・関係代名詞（目的格） ・グラフや表の活用	・資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。
	11	・Stage Activity 2 ・Let's Listen 5		
3	12	Unit 6 ・Let's Talk 3	・仮定法 ・食品の選択	・国を超えて助け合う大切さを知り、自分に何ができるのかを考えることができる。 ・架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 ・相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。
	1	・Let's Listen 6 ・Stage Activity 3	・中学校生活の思い出	・スピーチを聞いて、話の概要を理解することができる。
3	2	Let's Read 2	・読み物	・エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。
	3	Let's Read 3	・読み物	・スピーチ原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。

教科名	理科	週時間数	4 時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書 「未来へひろがるサイエンス3」 啓林館 副教材 「理科の自主学習」 新学社 「理科便覧」 浜島書店 「カラープリント 確認から発展へ」				

理科の 目標	・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
評価について		
観点	つきたい力	方法
知識・ 技能	身近な自然現象を日常生活や社会と関連付けながら自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの 基本的な技能を身に付けている。	・単元（評価）テスト ・定期テスト ・実技、作図テスト ・実験・観察の技能 ・授業プリント、振り返りの記述
思考・ 判断・ 表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見だし、表現するなど、科学的に探究している。	・単元（評価）テスト ・定期テスト ・実験・観察結果の考察 ・振り返り（問題づくり）の記述 ・授業のようす
主体的に 学習する 態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・ノート、授業プリントの記述 ・ワークの取組状況 ・振り返り（問題づくり）の記述 ・授業のようす
学習 方法	・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・学校で学んだことを理科の自主学習や授業プリントで復習をすることで、確かな力にしましょう。 ・授業の中で出てきた重要語句で、理解できなかった部分は、教科書や資料集を活用しながら、知識として定着できるようにしよう ・授業の『めあて』や『ふり返り』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察や実験では、目的や意図を考えながら取り組み、結果をわかりやすくまとめ、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・仲間の考えを尊重しあい、仲間の意見と自分の意見を比較して、科学的な見方や考え方を高めよう。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	運動とエネルギー	力の合成と分解	・重力と浮力の関係を理解する。 ・作図によって合力や分力を求めることができる。 ・物体の運動の様子の調べ、物体にはたらく力と運動の関係を理解する。
	5		物体の運動	
	6		仕事とエネルギー 多様なエネルギーとその移り変わり エネルギー資源とその利用	
	7		生命の連続性 生物のふえ方と成長 遺伝の規則性と遺伝子	
2	9	化学変化とイオン	生物の種類の多様性と進化	・現存の生物と過去の生物の関係性を、体のつくりと関連付けて理解し、進化の概念を身につける。 ・電解質について理解し、イオンの存在を見いだす。 ・イオンの生成が原子の成り立ちに関係すること理解する。 ・金属イオンのイオンへのなりやすさの違いを知り、電池の基本的なしくみを説明できる。 ・酸やアルカリの性質が何に起因するかを見出す。 ・電離や中和反応をイオンのモデルを使って説明できる。
	10		水溶液とイオン 電池とイオン 酸・アルカリと塩	
	11		宇宙を観る 地球から宇宙へ 太陽と恒星の動き	
	12		月と金星の動きと見え方 自然と人間 自然界のつり合い	
3	1		さまざまな物質の利用と人間 科学技術の発展	・さまざまな物質が目的や用途で使い分けられていることを認識し、有効利用するための方法に気付かせる。 ・さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識し、発展の方向性を検討する。 ・人間の活動と自然環境の関係について、考察できる。 ・持続可能な社会をつくることの重要性を認識する。
	2		人間と環境 持続可能な社会をめざして	
	3		3年のまとめ	

教科名	保健体育	週時間数	3 時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書「中学保健体育」Gakken 副教材「中学保健体育の学習」Gakken				

保健体育 科の目標	・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	
評価について		
観点	つけない力	方法
知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	・定期テスト ・実技テスト ・学習カード
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	・定期テスト ・学習カード ・観察
主体的に 学習に 取り組む 態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	・定期テスト ・実技テスト ・学習カード ・観察
学習 方法	・準備運動では集団行動をキビキビおこない発声も大切にしよう。背すじを伸ばしてランニングしよう。 また、ストレッチ体操では元気よく発声し、ポイントを理解して取り組むようにしよう。 ・ふだんの授業ではめあてを理解し取り組もう。また、ふりかえりではめあてに対して自分の考えを学習カードに記述するように意識しよう。 ・実技テストでは、課題に応じて思い切りやってみよう。 ・定期テスト前には保健分野・体育分野ともに復習する習慣をつけよう。 ・毎回の授業で、意欲をもって保健体育に親しむように心がけよう。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	○体育理論	オリエンテーション	・体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。
	5	○体づくり運動	集団行動	・集団としての活動の進め方や動きについて、理解し行動できる。
		○球技	新体力テスト バドミントン	・今の自分の体力の実態を知り、課題を見つけ、体力を高めるための運動や練習の仕方を考えられる。
		○陸上競技	短距離走(リレー) 走り高跳び	・自分や集団に適した課題を見つけ、解決に向けて、仲間と協力できる。
	7	●食育 ●健康と環境	環境の変化と適応能力 活動に適した環境 室内の空気の条件 水の役割と飲料水の確保 生活排水の処理	・フェアなプレイを守り、分担した役割を果たすことができる。 ・「食」に関する知識を身につける。 ・環境は健康にどのような影響を及ぼすのか等を理解できる。 ・理解した事柄を記述して表現できる。
2	9	○体づくり運動	体づくり運動	・自分や集団に適した課題を見つけ、解決に向けて、仲間と協力して技能の習得・向上を目指すことができる。 ・競争する楽しさや、仲間と協力する大切さに気づき、そのことを記述して表現できる。 ・「食」に関する知識を身につけ、「食」を選択する力を身に付ける。 ・どのようにして環境を保全していったらよいのかを理解できる。 ・感染症の予防、保健・医療機関や医薬品の利用、健康のための社会的な取り組みについて理解できる。 ・自分に適した目標を設定し、自分に合ったペースを守り一定の距離を走ることができる。
	10	○球技	サッカー バスケットボール ハンドボール	
		●食育	ごみの処理	
		●健康と環境	環境の汚染と保全 感染症とその予防	
	11	●健康な生活と病気の予防	性感染症とその予防 保健・医療機関の利用	
3	12	○文化としてのスポーツ	医薬品の有効利用 ともに健康に生きる社会	
	1	○陸上競技	長距離走	
	2	○選択体育	【屋内】バドミントン・バスケットボールなど 【屋外】サッカーなど	・フェアなプレイを守ったり、分担した役割を果たしたりできる。 ・自分や集団に適した課題を見つけ、解決に向けて協力して技能を習得し連携した動きで攻防できる。

教科名	音楽	週時間数	1 時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書 中学生の音楽 2・3 下 (教育芸術社) 副教材 中学生の器楽 (教育芸術社)				

音楽科 の目標	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	
評価について		
観点	つきたい力	方法
知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	・筆記テスト ・実技テスト ・鑑賞
思考・判断・表現	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	・筆記テストでの文章問題 ・実技テストでの創意工夫点 ・ふりかえり
主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、親しんでいく態度を養う。	・ふりかえり ・授業における学習態度 ・実技テスト ・筆記テスト
学習方法	・歌唱活動では、まずは自信をもって歌えるようになろう。その後、周りの音を聞いて音楽を楽しめるようになろう。 ・実技テストでは、大きな声で歌ってみよう。また、創意工夫したり、強弱記号をつけたりして歌えるようになろう。 ・授業でのワークシートを積極的に取り組もう。また、筆記テスト前に復習する習慣をつけよう。 ・鑑賞では、言葉で説明したり、根拠をもって評価したりして取り組むようになろう。 ・毎回のふりかえりの中では、めあてに対して自分の思いを書けるように意識しよう。 ・毎回の授業で、意欲をもって音楽を楽しむように心がけよう。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	歌唱活動	オリエンテーション 「島唄」	・美しい歌声で歌うための姿勢をとることができる。 ・合唱の響きを感じ合いながら歌うことができる。 ・強弱を意識して歌うことができる。
	5	楽典 歌唱活動	「長調と短調」 「花」	・長調と短調の特徴について理解することができる。 ・自身をもって堂々と歌うことができる。 ・曲の情景を浮かべながら歌うことができる。
	6	鑑賞 実技テスト 筆記テスト	「ブルタバ」 「花」 期末テスト	・曲の構成を感じ、情景を浮かべて鑑賞することができる。 ・音程を取って歌うことができる。 ・曲に合った強弱・構成などを理解して表現することができる。
	7	歌唱活動	「明日という日が」	・合唱の響きを感じ合いながら歌うことができる。
	9	歌唱活動	「明日という日が」	・自身をもって歌うことができる。 ・曲に合った強弱を意識して歌うことができる。
	10		文化祭に向けて	・休符や音符の長さを意識して歌うことができる。 ・他のパートとの響きを味わって歌うことができる。 ・歌詞に合った表現を考えて歌うことができる。 ・よりよい合唱にするために自分の意見を他の人に共有することができる。
	11		「Amazing Grace」	・英語の雰囲気を感じ合いながら歌うことができる。
2		鑑賞	「能」	・日本特有の音楽や文化を味わって鑑賞することができる。
	12	実技テスト 筆記テスト	「明日という日が」 期末テスト	・音程を取って歌うことができる。 ・曲に合った強弱・構成などを理解して表現することができる。
		実技活動	「リズムアンサンブル」	・音の重なりや響きを感じながら演奏することができる。
		歌唱活動	「卒業式の練習」	・合唱の響きを感じ合いながら歌うことができる。
3	1	歌唱活動	「卒業式の練習」	・合唱の響きを感じ合いながら歌うことができる。 ・感謝の気持ちを込めて歌うことができる。
	2	鑑賞	「鍵盤楽器」	・鍵盤楽器の音や楽器の特徴を見つけることができる。
	3		「著作権」	・音楽を生み出す力について理解することができる。

教科名	技術	週時間数	0.5時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書「NEW 技術・家庭 技術分野 明日を創造する」教育図書 副教材「NEW 技術・家庭 技術分野 ワークノート」教育図書				

技術科 の目標	・情報化社会におけるコンピュータの重要性と危険性に気づき、コンピュータを使用する上での心構えを身につける。 ・適切なプログラムの制作、動作およびデバッグ等ができる技能を身につけている ・生活を工夫し、創造する能力を養う。	
評価について		
観点	つけたい力	方法
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・実技テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・授業プリントの記述 ・授業の振り返り ・定期テスト ・実技テスト
主体的に 学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・授業の振り返り ・授業態度 ・定期テスト ・実技テスト ・ワーク、プリントなどの提出物
学習方法	・積極的に制作に取り組み、自分を表現しよう。 ・自ら考え、仲間の意見をよく聞き、考えを深めることを心がけよう。 ・作業の準備、後片づけがしっかりできるようにしよう。 ・授業中は私語を慎み根気よく制作に集中しよう。 ・提出物は、期日を守って必ず提出しよう。 ・実技テストは、授業内で言った注意点やポイントを意識して行うようにしよう。 ・定期テストで点が取れるようにワーク、配布プリントは何度もやり直そう。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	情報の技術	パワーポイント	・パワーポイントの使い方を理解できる。
	5		コンピュータの構成を学ぶ	・コンピュータの構成機器を知る。
	6		情報モラルについて学習しよう	・知的財産権に関する知識を理解する。
	7			・情報モラルについての知識を理解する。
2	9	情報の技術	表計算（エクセル）	・エクセルを利用して、目的に合った計算式を入力できる。
	10			・エクセルを利用して、目的に合った表やグラフを作成できる。
	11			
	12			
3	1	情報の技術	ワード	・応用ソフトを適切に活用して作品を作ることができる。
	2		ペイント	・生活に必要な情報をデジタルデータにまとめることができる。
	3			・応用ソフトを意欲的に活用できる。
				・創意工夫して作品を作り上げることができる。

教科名	家庭	週時間数	0.5 時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書 技術・家庭 家庭分野 教育図書 副教材 技術・家庭分野 ワークノート 教育図書				

家庭科 の目標	・作品を制作したり、調理実習などの体験的な活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・生活を工夫し、創造する能力を身につける。	
評価について		
観点	つきたい力	方法
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付けるようにする。	・定期テスト ・授業プリントやノートの記述 ・授業中の発言、観察 ・調理実習や裁縫等の実技
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、問題を解決する力を養う。	・ノート、授業プリントの記述 ・授業中の発言、観察 ・ワークの記述（深めよう） （授業・単元のふりかえり） ・定期テスト
主体的に 学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	・授業中の発言、観察 ・プリント等の記述 ・ふりかえり
学習方法	・授業中は私語を慎み授業に集中し取り組もう。 ・ハンドノートを中心に学習しよう。 ・提出物は、期日を守って必ず提出しよう。 ・実技テストは、授業内で言った注意点やポイントを意識して行うようにしよう。 ・定期テストで点が取れるようにワーク、配布プリントは何度もやり直そう。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	家庭生活と地域との かかわり 幼児の生活と家族	家族の一員としてできることを考える 家族関係をよりよくする方法を考える 家庭生活と地域とのかかわりを知る 地域の人々と、協力・協働する 幼児の体の発達を知る 幼児の心の発達を知る 幼児の生活習慣の身につけ方を知る 幼児の生活の特徴を知る	・家庭や家族の基本的な働きを理解し、自分にできる家庭の仕事を見つけ実践することができる。
	5			・家庭にはそれぞれの立場や役割があることを理解する。
	6			・家庭生活は地域との関わりで成り立っていることを理解する。 ・高齢者の一般的な身体の特徴を理解する。 ・地域の人とかかわるときのマナーや注意点を理解する。
	7			・自分の成長を振り返ることによって、家族や多くの人々に支えられていることに気付くことができる。 ・幼児期の発達の特徴を知り、一人一人に個性があり、発達には個人差があることに気づく。 ・幼児の基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の習得について知る。個人差があることに気づく。 ・幼児期の食生活の特徴とおやつの必要性を理解する。 ・手作りおやつのよさを考える。 ・保育実習に行く際に持参するおもちゃを作る。 ・安全で幼児が興味を持てるおもちゃを作る。
2	9	幼児との関わり方についてまとめる	幼児の遊びと発達のかかわりを知る 幼児の発達を支える大人の役割を考える 幼児とのかかわり方を考える 幼児とふれ合ってみよう 保育実習 幼児との関わり方についてまとめる	・幼児にとっての遊びの意義について理解できる。
	10			・体験学習を通して、課題を持って幼児と直接関わるができる。
	11			・幼稚園の先生方のアドバイスを参考に幼児との関わりかたを工夫できる。
	12			・保育実習の感想と反省
3	1	消費者の権利と責任	消費生活が社会の与える影響について知る 環境に及ぼす影響を考えて行動することを知る	・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響を理解できる。
	2			・エネルギー消費を減らす方法を考え、実践できる。
	3			・これからの生活を展望して、環境に配慮した生活を工夫することができる。

教科名	美術	週時間数	1 時間	学年	3 年
使用教科書 副教材等	教科書「美術 2・3」光村図書 副教材 「美術資料」秀学社				

美術科 の目標	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	
評価について		
※ 美術は、制作が長期間に渡るものがあり、各学期の成績は、題材の時間・内容などを考慮して、評価します。また、長期間に渡る題材の制作終了と、各学期の評価のタイミングが合わないため、学年末の成績は、単純に各学期の成績を平均したものとはなりません。1年間の学習活動を俯瞰し、題材の時間・内容・学習の深まりなどを考慮して、評価します。		
観点	つきたい力	方法
知識・技能	感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、表現の意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創意工夫して創造的に表す力。	・作品、エスキース、アイディアスケッチ、及び振り返りプリントなどから、いかに自分の表現を追求しているかを読み取り評価する。 ・授業の様子を観察して、評価する。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩の構成などの効果を生かし、心豊かで独創的な表現の構想を練る力 感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりする力。	・作品、エスキース、アイディアスケッチ、及び振り返りプリントなどから、アイディアをいかに構築しているかを読み取り、評価する。 ・鑑賞プリントから、自分の見方や感じ方を大切にして、いかに作品を味わっているかを読み取り評価する。 ・授業の様子を観察して、評価する。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身につけるために、主体的に学習に取り組もうとする力。	・作品、エスキース、アイディアスケッチ、鑑賞プリント、及び振り返りプリントから、取組の質を読み取り評価する。 ・授業の様子を観察して、評価する。
学習方法	・積極的に制作に取り組み、独自性を大切にしながら、こだわりをもって自分の表現を追求しよう。 ・チャーム着席、作業の準備、後片づけがしっかりできるようにしよう。 ・授業中は私語を慎み、根気よく制作に集中しよう。 ・制作に必要な資料や材料を準備し、制作に生かすことが出来るようにしよう。 ・芸術や美術に興味を持ち、芸術作品を見る機会を持とう。 ・提出物は、期日を守って必ず提出しよう。	

学期	月	単元	学習内容	主な学習のめあて
1	4	アートゲーム	アートかるた	・アートゲームを楽しみながら、美術作品の様々な見方を体験する。
			オリエンテーション	・美術の授業で学ぶことや準備すること、ルールなどについてしっかりと理解する
	5	構成	美術の自己紹介	・自分を美しく紹介することを楽しみ、喜びをもって積極的に表現する態度を育てる。 ・美意識を働かせながら自分の思いにあった表現の構想をする力を育てる。 ・自分なりの造形感覚を生かし、美しく創造的に表現する力を育てる。
	6	平和を訴える絵	絵を読む（鑑賞）	・図案に託されたメッセージを理解すると共に、その表現を自分の味わい方をして主体的に感じとったり、味わったりする力を育てる。 ・メッセージ性を持った絵画を主体的な態度で鑑賞し、表現しようとしたこと、表し方を分析し、自分の思いや考えを見つめようとする態度を育てる。
2	7			
	9	平和を訴える絵	平和を訴える絵（表現）	・表現の思いやイメージに応じてさまざまな技能や造形的な知識・感覚を生かし、試行錯誤を繰り返しながら、美しく独創的に表現する力を育てる。 ・平和学習を通して学んだ知識や培った思いを元に地域に発信したいメッセージを考え、かたちの構成などを工夫して、美しく個性的な表現の構想をする力を育てる。 ・自身の活動を的確に検証すると共に、自他の作品を鑑賞し、よさや美しさ、意図と工夫などを感じとったり味わったりする力を育てる。 自分が作品に込めたい意図が鑑賞者の中でどのようにイメージが広がるかを想像しながら表現を吟味し創り上げることやそれを鑑賞することに喜びをもって積極的に取り組む態度を育てる。
	10			
	11	ポップアップカード	ポップアップカードの基礎	・試行錯誤しながらポップアップの技術を理解・習得し、美しく個性的に表現する力を育てる。 ・自分の表現世界を豊かに発想し、自分の思いにふさわしいかたちや色、材料、表現方法など自己表現の構想を深める力を育てる。
	12			・ポップアップの表現に深い関心や意欲を持ち、自分の思いを積極的に表現しようとする態度を育てる。
3	1	ポップアップカード	思いを伝えるメッセージカード	・表現の思いやイメージに応じてさまざまな技能や造形的な知識・感覚を生かし、表現過程でさらに創造的に試行錯誤しながら思いの伝わる自分らしい表現を追求し、美しく個性的・創造的に表現する力を育てる。 ・受け取り手がどのように感じるかをいろいろな角度から考慮し、じぶんの思いにあったメッセージカードを想像力豊かに構想をする力を育てる。
	2			・自分の思いを色や形によって人に伝えることに喜びをもって積極的に表現する態度を育てる。
	3	アートゲーム	○×クイズ	・美術作品や文化遺産としての絵画や彫刻などに親しみ、それらを理解すると共に、自分の味わい方を大切にして主体的に感じとったり、味わったりする力を育てる。 ・解答を考えながら、対象のよさや美しさなどを感じとったり想像したりすることを楽しみ、喜びをもって積極的に鑑賞する力を育てる。